

TOPICS

第4期生 地域エンパワねっとⅠ スタート!

STEP 1 知る

つながりを大切に、地域でがんばります!

報告会が終わったのも束の間。エンパワ4期生(38名)の「地域エンパワねっとⅠ」がはじまりました。初回は自己紹介や仲間作りの演習を行いました。これから1年間かけて、地域の皆さまや仲間と一緒に協働していく思いを体と言葉で表現。4期生もどうぞよろしくお願いいたします。

4期生



地域間でのつながりや、まちの新たな魅力を発見したい♪

地域や人を元気にする力を養いたい!

一回きりではなく、継続していくものができたらいいな。

4期生へ

～先輩受講生からのメッセージ～

- 私たちの学んだことも踏み台にして、より飛躍した活動を進めてください。
- 価値観が違って悩んだときこそ、自分を大きくさせるチャンス!

間違ってもいい。積極的に取り組んで!

考える前に動こう!!

- 無駄なことなんてひとつもなかった。とにかく自分が楽しんで取り組んで。
- 自分なりの目標を持ちつつ、地域に入っただけの問題とすり合わせ、考えてほしい。

悩んだときは考えるのではなく、地域の人に話すのが大切!

来年の自分の成長を楽しみに!

- すごく悩むことがあると思うけれど、続けることに意味がある。がんばって。
- 地域の方々、学生同士のつながりをしっかり築きあげてください。

必ず地域に答がある!

目標を持って活動することの大切さを感じられます。エンパワは素敵ですよ。

スケジュール・お知らせ

10月

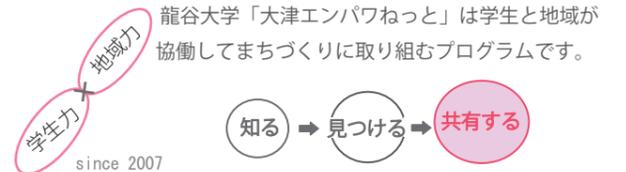
- 7日(金): 地域エンパワねっとⅠ 地域デビュー(瀬田東)
- 12日(水): 大津エンパワねっと推進委員会(学内)
- 21日(金): 大津エンパワねっとを進める会(中央)
- 24日(月): 大津エンパワねっとを進める会(瀬田東)

大津エンパワねっと通信



VOL.33 2011.10.18 発行

STUDENT × COMMUNITY = ∞



TOPICS

地域エンパワねっとⅡ 報告会

STEP 3 共有する

エンパワねっと 3期生

2011年度「地域エンパワねっとⅡ」報告会を開催しました!



2011年9月10日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス 8号館 103号室  
(報告会) 9:30～12:00  
(懇親会) 12:10～14:00

【プログラム】

- ・ポスターセッション
- ・学生による活動発表
- ・全体講評



エンパワねっと3期生にとって1年間の活動の最後を締めくくる報告会が、9月10日(土)瀬田学舎8号館を会場に開かれました。

例年通り、全11チームがそれぞれ課題発見から解決に取り組んだ様子をポスターにまとめて掲示。学生たちは交代交代に前に立って活動内容や苦労談を説明していました。地域の皆さんをはじめとする来場者の方々からは「どのチームも葛藤しながら、自分で物事を見て、考え、地域とやり取りをして実践に結び付けてあり、学生の思考過程が具体化してきて嬉しい」



「こうした素晴らしいテーマをひとつの方向づけにし、次の学生へ継続的に発展して引き継いでほしい」「失敗してもそれを乗り越えて進んでいければ得るものが大きいと感じた」といったコメントをいただきました。

その後、代表に選ばれた4チームが、活動報告のプレゼンテーションをしました。参加者からは、「年々発表が上手になっている様子がよく分かる」という声も。

3期生は1期生、2期生が蓄積してきたことを継承しつつも、どのように地域における「つながり」を築いていくのかという点に知恵をしばり、汗をかいてきたように思います。このような地域の中での経験が、学生たちの社会参画力や人間力を確実に成長させているのだなぁと実感しました。



↑ 地域の方よりいただいたコメントをポスターに書き込んでいます。



(W)

学生代表グループによる 報告発表・講評

各地区（瀬田東学区・中央地区）代表の4グループが発表し、お世話になった地域の方よりコメントをいただきました。気づきや成果を共有しながら、「学生力」と「地域力」を相互に高めあう時間となりました。

C22 子どもたちの自主性をのばす！ ～子どもたちが地域に根づく土台作り～

チームグループ



comment



中央学区 子ども育成連絡協議会 下清水 千香子さん

「中央学区の子ども参加率が低い中、いろんな視点を持って声をかけていただいて参加率が少しずつあがっています。1年は短い気はしますが、また顔をだして子ども達に声をかけてほしいなと思います」

C24 子どもたちに地元を好きになってもらう

Ms, Children



comment



中央学区 子ども育成連絡協議会 山崎 清美さん

「最初の失敗を次に活かせたと思います。紙すき、流しそうめん、スイカ割り、と子ども達も普段経験できないことをしていい思い出になっています。これからもこの企画を自分の人生に活かしていただけたらと思います」

S21 瀬田東を第二のふるさとに ～地域と学生を結ぶマップづくりと行事参加～

君に届け



comment



瀬田東学区 文化振興会 数本珠代さん

「私たちの事業以外にもいろいろ瀬田東を知ろうとする一生懸命さが伝わってきました。エンパワねっどを終えたあとにはすごい成長があると思います。これからも引き続き参加していただけたら嬉しいです」

S22 父親の地域活動への参加に向けて ～きっかけ作り～

ちゃんちゃん ちゃんぷる



comment



瀬田東学区 青少年学区民会議 古田 善司さん

「パパ友づくりというテーマがこちらの趣旨と合うのか等々、心配しましたが、基礎データを取り、分析力を持ってがんばられたことを改めて知ることができました。こうした知恵をいただいたことに感謝申し上げます」

地域間における問題点、解決方法は学生さんのご指摘通り。高齢化率が高まっている中央学区だからこそ、時間のある人々でもってタテ社会を再構築し、こういった問題を解決していけばいいのでは、という気づきと励みをいただきました。(中央学区自治連合会 安孫子 邦夫さん)

地域と学生が相互に協力し、努力されていた。龍大生の交通問題で迷惑がかかっている事実等もあるので、多くの龍大生にエンパワ生が取り組んでいることが広まり、いい意味で地域との関わりを深めてもらえたらと思います。(瀬田東学区自治連合会 木村 準一さん)

ご来場いただいた皆さま、多数のご意見をいただき、ありがとうございました！！今後ともよろしくお祈りします。

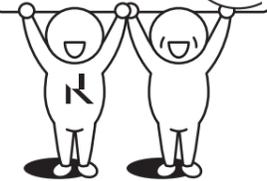
報告会終了後、「まちづくりコーディネーター認定式」ならびに地域の皆さんとの懇親会を行いました。ときにグループ間を越えて助け合いながら、地域の中で切磋琢磨してきた3期生。お世話になった地域の皆さんや先生方に祝福され、達成感にあふれた表情を見せていました。



↑各学科代表 4名の学生が黒田学部長より認定書の授与を受けました。



2011年度 龍谷大学まちづくり コーディネーター認定者 2009～ 累計 44名 2011.09.10 現在 125名



↑井上源太郎さんの音頭で「乾杯！」



↑地域福祉学科

コミュニティマネジメント学科



↑社会学科

臨床福祉学科



報告会でいただいたご意見・感想

●企画段階で大分ご苦労されたように感じられました。地域の団体との意思(目的)の違いでダメージを受けられたようですが、めげずに協議され、頑張られたことに拍手を送ります。社会に出られたときの経験値としてはよかったのではないかなあ。

●地域との連携不足でスタートしてしまった点を気づいたことは大切だと感じた。エンパワの目的を各チームとも達成できていたと思う。

●「地域のニーズ」をつかむことは難しいですね。やはり基本は地域を知ること。考えを深め、協議を重ねながら、それぞれの目的やニーズが重なる部分を大きくすることが大切だと思います。

●発表後、お世話になった地域の方がコメントされたときに、地域の方が感極まっておられたのを見て、学生と地域住民が強く深く関わって活動したのだと感じました。(社会学部 2回生)

●これまでハード的なものや単なる手伝い的な活動が続いてきた中で、今期からソフト面や地域委員の育成などに目が向いてきたのは大きな進歩だと思う。

●失敗を繰り返し、地域の人々のニーズに応えるテーマにたどりつくためには、ものすごくいろいろ考えたのだと思う。自分たちで地域の何が問題となっているかを見つけることは重要だと思った。(社会学部 2回生)

●何事も一生懸命だった。自分達もがんばらなければと思いました。

●地域の方々とのつながりを築いたところで、1年でほとんどの活動が終わってしまうことが少し残念だと思いました。活動を引き継ぐことが大切ではないのかなあと感じました。(社会学部 2回生)

